4

5

6

7

12

13

14

15 16

17

18 19

20

2122

23

24

25

2627

28

29

30

31

32

33

34

35

41 42

43 44

西東京市市民協働推進センター

平成24(2012)年度第10回運営委員会会議録(確定稿)

■開催日時:平成25年2月19日(火) 午後7時~9時10分

■開催会場:イングビル3階 第1会議室

■出席委員:有賀委員、有馬委員、久保委員、熊田委員、田辺委員、徳永委員、中曽根委員、原委員、

宮﨑委員、吉田委員<以上10名、五十音順>

■事務局:内田センター長、池島、丸木地域福祉課長、篠原主事

1. 報 告 事 項

1. 西東京市市民協働推進センター業務報告について

事務局より1月に実施したNPO市民フェスティバル第5回・第6回実行員会、近隣6市市民活動連絡会、協働に関する情報収集勉強会③、1月の新規団体登録状況、相談対応状況について報告があった。

委員から近隣6市の連絡会での西東京市からの報告内容、登録抹消団体の理由、相談記録についての質問が出され、事務局から回答がなされた。

2. 2月以降の西東京市市民協働推進センターの事業について

事務局より既に実施済であった2月事業の行政職員と市民活動団体の懇談会、NPO市民フェスティバル、ゆめサロン、協働を考えるシンポジウムの実施報告と2月21日実施予定のまちづくり円卓会議についての開催概要の説明が行われた。

委員長:2月の実施事業に参加した委員がいるので話を聞きたい。まずは行政職員との懇談会について。

委員:初めてのワールドカフェだったが、良かった。行政に対して物申すということではなかったが、どうしても市民側からは「行政頑張って」というものがあり、行政側の反応もそれぞれ違っていた。全体としては非常に和やかだった。

委員:司会が上手に進めていて、全体が和気あいあいとしていた。あるものを持った人が発言するというルールだったので横から遮られるということがなかったのは良かった。ただ、それらの発言をどうまとめるのかが疑問である。

委員:全体でアイディアの共有はしなかったのか。

事務局:全体で意見の共有は行った。行政と市民のコミュニケーションを図る場だったので、職員が、参加することで何かの答えを出さなければいけないという意識を持たないように心掛けた。

委員:出てきた意見はまとめて資料などとして見ることはできるのか。

事務局:まだ形にはなっていないが、まとめなどは行う。

36 委 員: その中で当初の目的である行政と市民とのコミュニケーションは上手く行われたか、全体としてどの 37 ようだったかはわかるのか。

38 事務局:アンケート結果だが、全体としては参加して良かったというものであった。個別の意見も前向きなも 39 ので、今後も参加したいという意見が多かった。

40 委員:その時に参加した団体や行政の部署などを教えて欲しい。

事務局:参加された団体はゆめこらぼに団体登録している、まちづくりと地域安全の活動を行っているところである。行政は、危機管理室や企画政策課、生活福祉課などからの参加があった。

委員長:終始和やかに進んだようだが、その理由として手法もあるが、テーマも関係しているのではないか。 そのあたりをどう分析しているか。

事務局:テーマによって参加者が増えたというわけではない。懇談会が終わって、参加者から「このような形式ならばもっと多くの人に参加してもらいたい」という意見があったところに、今回の成果が出たと考えている。

48 委員長: ワールドカフェという新しい手法を取り入れたことと、まちづくりと地域安全が話しやすいテーマだ 49 ったことで話し合いが和やかに進んだ。今後も手法やテーマについて検討していってもらいたい。

50 委員長: NPO市民フェスティバルについてはどうだったか。

51 委員:話題性のあるものがあったのは良かった。一つは日本凧、もう一つはNHKのディレクターの講演で

- 1 ある。改善点は、展示への参加団体の数が多く、ブースによっては間口が狭くなってしまい中が見え 2 なくなってしまったこと。団体名のバナーがブース入口にあったりなかったりと統一感がなかったこ 3 と。
- 4 委 員:多くの学生ボランティアが運営を手伝ってくれていたが、事前にどの程度ミーティングをしていて、 5 運営の指示をどのようにするのかなどの運営部分が上手く回っていないように感じられた。また、フェスティバルが参加者同士の交流の場から抜けきれていない。一般参加者を呼び込むにはより早くにプログラムが決まりパンフレットでの広報ができた方が良かった。
 - 委 員:開催日の検討が必要ではないか。今回、パリテまつりと重なってしまった。また、難しいことかもしれないが、毎年同じではなく、こもれびホールなど他の場所で開催することも検討してはどうか。
- 10 委 員:パンフレットが分かりやすく、入口としては良かった。改善点としては、団体の人がブースにこもりがちになってしまい、そのため一般の人は入りにくかった。自分の団体はフェスティバルで何をアピールしに来ているのかを自問自答した。パネル展示をする団体は市民に何を紹介したいのかがブースできに必要。今回、田無公民館と協力していく第一歩ができたのはとても良かった。
- 14 委員長:学生ボランティアについて、統率力という意味では課題が残った。若い人がメンバーとなっているこ 15 とには大きな意味があった。参加した委員からの指摘にあった展示や会場レイアウトの課題は今後検 16 討していってほしい。今回の一般市民の参加者数は具体的にはどうだったか。
- 17 事務局:はっきりと区別はつけられないが、昨年からあまり増えていないように感じる。当日は選挙がありそ 18 の帰りの人が足を運ぶことを狙ったが、上手くいかなかった。今後も工夫をしていく。
- 19 委員長:委員から指摘のあった点、事務局から挙がった課題について次回以降に活かしていってほしい。
- 20 事務局:開催日について、来年のパリテ祭りの日にちは把握しているので、被らない日程を検討している。
- 21 委員:パリテ祭りとNPO市民フェスティバルは、開催しているのはどちらも協働コミュニティ課なのに、
 22 なぜ日程が被るのかということは以前からあった。次回はフェスティバルも早めに日程が分かると良い。
- 24 委員長:第5回ゆめサロンの参加者が多かったようだが、テーマが子ども関係であったことが理由か。
 - 事務局:口コミや個別に公民館などにチラシを配布するなどや、関係者へも声をかけた結果の集客数だと考えている。
 - 委員長:協働を考えるシンポジウムはどうであったか。

8

9

252627

28 29

30

31 32

33

34

35

36

37 38

39

40

 $\frac{41}{42}$

43

495051

- 委員:運営のことだが、センター長1人が司会からパソコンの操作などもしていたので、ゆめこらぼとして 役割分担した方が良い。シンポジウムについて、講師の話は、短い時間の中でたくさんのことを話し ていたので内容がよくわからなかった。もう一つは、市にもう少し本音で話してほしかった。
- 委員:パネルディスカッションから出席したが、興味深かったのは、三鷹ではサイレントマジョリティを引っ張り出しているということである。今まで物言わぬ人だったのが物を言うようになったという話だったが、それが本質だと思った。協働が進んでいるところは市民の主体性がありありと感じられる。西東京市での取り組みについて説明していたが、やっていることの羅列ではなく、問題点などをまとめて聞きたかった。
- 委員:西東京市からの具体的な話がなかった。全体的にとても良かったが、自分の中では市民がもっと意識を高く持たなければと思った。横浜や三鷹は市民主体であり、公共の課題がいかにコミュニティの課題になるかを考えている、例えば、このような運営委員会に関しても、「いかに協働を」ということがかなり話されていると感じた。び一のび一のの話について、行政から委託を受けるが、受けたものをそのまま鵜呑みにするわけにはいかない、という受ける側の意思がはっきりしている。一つひとつの課題に対してお互いが歩み寄って考えていることがおもしろい。明文化することがすごく大事であることなど、参考になるところはたくさんあった。三鷹の行政職員向けの協働推進のためのハンドブックというのがあったが、それを見てみたい。
- 44 委 員:三鷹の市民21会議をするのに無作為抽出で市民を集め、何も準備をしていない人たちで会議を始め 45 るという話があったが、それはおもしろいと感じた。
- 46 委員:三鷹の話をもっと聞きたかった。
- 47 委員長:西東京市の課長も今回参加して気づいたことはあったのではないか。これからも粘り強く行政との関 48 わりを続けていくことが重要である。

1 2

3

4

2. 審 議 事 項

1.2012年度第9回西東京市市民協働推進センター運営委員会会議録について

委員長:何か気になる部分はあるか。なければ第9回の西東京市市民協働推進センター運営委員会会議録(未 定稿)は確定稿とする。

5 6

7

8

9 10

11

12

13 14

15 16

17 18 19

20

2122

23 24

25

26 27

28

29

30

31 32

33

34 35

38 39 40

41 4243

44 45

46 47 48

49

50 51

事務局: すでに始めている。

3. 協 事 項

1. 次期西東京市市民協働推進センター運営委員会委員名簿について

3月15日が締切の公募市民を除き、次期運営委員会委員候補が決定した。

2. 平成25年度西東京市市民協働推進センター事業・事務執行計画について

事務局:以前に出した計画の執行計画である。実施する時期を見直している部分がいくつかある。今回議論し ていただきたいのは、取り組み方についてである。全般的には、まちづくり円卓会議、行政職員との 懇談会、NPO・市民活動ネットワークの3本を積極的に取り組んでいきたい。もう一つ、取り組み で考えたのは、事務所に籠っているのではなく、スタッフが役割分担をして、市民の中に入っていく 機会を増やす考えである。例えば、出前講座の実施や機関紙の発行の際に登録団体の取材を行い、記 事にするなどである。さらに、そのような市民とのつながりを通してシニア世代の人材の発掘を図る。 まちづくり円卓会議は、地域課題を抽出して、来年度から本格的に取り組んでいきたい。行政職員と の懇談会は、年に1回の予定となっているが、進捗状況に応じて回数を増やしたい。 実施時期をずら したのは、協働を考えるシンポジウムとの関連のためである。シンポジウムは市の職員研修になって いるので、先に参加して、問題意識をもった事を基に懇談会へ、という流れを持たせる。NPO市民 フェスティバルの開催時期について、現在、11月位を検討している。実際には市民文化祭が一ケ月 間あり、12月1日が妥当ではないかと考えているが、運営委員会での意見を勘案して決めていきた い。ゆめサロンの実施が場当たり的になっているので、少なくとも半年単位での実施計画を立てられ るようにしたい。

NPO・市民活動ネットワークは、従来の子どもネットワークの拡大を図ることに加えて、出前講座 を行っていく中でのネットワークづくりなどを検討している。

- 委員:資料の見方について、取り組みの欄に書かれていることは我々が見るのは初めてか。
- 事務局:11月に実績を中心に報告した時に、一部、取り組みが入っていた部分がある。
- 委員:総体的に見れば初めて見る欄ということか。
- 事務局: そうである。
 - 委員:人材バンクによる人材情報の提供は情報の増減や実績などの報告を受けた覚えがない。
- 事務局:報告はさせていただいている。今年も1件の登録くらいで、あまり活性化していない。
- 委員:以前登録したが、その後何も連絡がない。他市でも同じような取り組みをしたが失敗したと聞いた。 西東京市ではどうなのか。情報は古いものが入ったままなのか。 36
- 事務局: 今まで登録されたものがそのまま残っている状態である。 37
 - 委員長:情報を新しくすることは必要である。人材バンクを出前相談会とリンクさせるとあったが、具体的に はどうするのか。
 - 事務局:出前相談会の主目的は講座的な形が多いが、出かけて行った先でプロボノ的な情報や人材バンクに登 録していただけるかという可能性も含めて打診をして、可能であれば積極的に載せていただくとか相 談を受けることなどである。登録者は待ちの状態で、ほとんどやり取りをしていない。活性化させる 取り組みをしたい。
 - 委員長:非常に良い取り組みである。事業間で一定の連動性を持つのは大事な視点になる。他にもつなげて展 開できる取り組みがあれば事業の省略化も図れるし、事業の目的達成にもつながる。
 - 委 員:取材活動の取り組みを始めるのは良いこと。地域デビューをしたい人を引っ張ってくるという話があ ったが、機関紙の発行数は増やせないのか。ホームページも方法の一つだが、紙ベースの方がわかり やすい部分があり、機関紙によって情報を得る人が増えるのではないか。また、イベント情報のチラ シを大規模マンションに掲示するとあるが、自分が出入りしているマンションは対象のはずなのに一 度もチラシを見かけたことがない。まだ始まっていないのか。

1 委員:掲示を断られた所はあるのか。

10 11

12

13

14

15

29

30

31 32

33

34

35

36

37

38

39

40

- 事務局:ある。500戸以上を目安としているので、全ての大規模マンションに声をかけてはいない。2、3
 回試みた中で、コネクションができたので、イベント一覧のチラシとは別に、NPO市民フェスティバルとしてのチラシ掲示依頼ができた。徐々に拡大していく予定である。
- 5 委 員:25年度というのは、市長が変わって初めての年度である。一年目の市長はどこに自分の仲間がいる のか、頼りになる存在がいるのかを柔軟に受け止められる時期である。協働というのは、職員といく ら交流しても、トップがどう考えているか、計画として推進して目指していくのかが決め手となる。 シンポジウムに市長を引っ張り出すことが出来るのは一年目くらい。ぜひ、どこかでトップを巻き込むような、巻き込んだ時に入りやすいような取り組みを考えていけると良い。
 - 委員:行政との懇談会と協働を考えるシンポジウムに関して、シンポジウムで下慣らししたうえで懇談会につなげるのはとても良いが、今のままの日程設定では市側は出にくい。たくさんの行政職員を動員したい懇談会について、実施を2月に設定するのは、議会の関係で厳しいのではないか。以前に同じような話をした時に、懇談会の結果をある程度予算に反映したいのなら、8・9月に実施すべきというような話をした記憶がある。諸々の事情からそれはできないとのことだったので、1月の実施は予算とは関係なしにした時期としては妥当である、と理解した覚えがある。2月は良くない。
- 16 事務局:シンポジウムを12月実施にすることは厳しいか。
- 17 委 員:12月は大丈夫かもしれないが、これは相手があっての話である。こちら側だけで日程を決めている 18 ような印象を受ける。
- 19 事務局: 行政との懇談会の2月実施は見直すことにする。
- 20 委 員: 率直に、いつならば出席しやすいかを聞いてみてはどうか。とくに、年2回実施にしたいという意欲 21 を示しているなら尚更である。
- 22 事務局: NPO市民フェスティバルの開催時期も含めて、日程について市との調整会議の中で協議したい。
- 23 委員長:市側の事情もあるので、改めて調整をお願いしたい。
- 24 委 員: フェスティバル開催について、11月はイベントがたくさんあり、市民まつりもあるので、みんな疲25 れてきているころなのではないか。
- 26 事務局:市民まつりと一緒にやっているNPOは少ないが、集客のことなどを考えた時に、一ケ月間という期 27 間の中で連動する形の流れや広報をできないか、という考えである。
- 28 委員:全体としての質問だが、事業の優先順位はどのようになっているのか。目に見える形にしてほしい。
 - 事務局: 資料にある事業は全て行わなければならない。優先順位に関しては、特に力を入れるのは、"まちづくり円卓会議" "行政職員と市民活動団体の懇談会" "NPO・市民活動ネットワーク"の3点である。
 - 事務局: 今年度から新たに委託を受けるにあたって運営委員会で話した際、ゆめこらぼができてから3年間は 種まきの段階で、市民活動団体など活動する人を応援しようというところに力点を置いてきた。種ま きは終わったので、これからは応援してきた団体のみなさんが行政・企業・他の団体同士と協働でき る取り組みの仕掛けづくりに力を入れていこうというのがこれからの3年間である、ということで事 業を組み立てていただいた。協働という点を大事にしながら、先ほどの3点の取り組みを挙げた。指 摘があったように、見てわかる工夫はしていく。
 - 委員:新しい公共や中間支援センターのあり方などに関する情報収集と協働に関する情報収集について、これらにぶら下げる形であったシンポジウムや勉強会などは、25年度は行わないという理解で良いか。 それならば、説明にある、新しい公共に関する情報の収集と共に、市民活動団体との情報共有化を図ることを受けた活動とは何か。
- 41 事務局: それに関しては、定期的に行っている近隣6市との交流を通しての情報収集のことである。
- 42 委員:新しい動きに対しての情報収集をしないとなった時、資料にある説明文を受けた活動は何か。
- 43 事務局:近隣6市との交流の中でも、新しい動きに関する情報収集はできている。
- 44 委員: それならば、実施は随時ということになるのか。
- 45 事務局:近隣6市との連絡会以外の情報収集を随時行うということである。
- 46 委員長:近隣6市との連絡会での情報収集を補うという意味で随時と表記したものか。そういうことならば、 47 読みやすい表記をお願いしたい。
- 48 事務局: そのようにする。
- 49 委員:市民活動団体状況調査は随時行うのか。どこかの時期で一度まとめて行うのではないのか。
- 50 事務局:団体側のスケジュールの都合もあるので、年間の計画として随時と表記したが、未定に修正する。
- 51 委員:新しい公共に関する情報収集とあるが、"新しい公共"という言葉が古いものになっている。新しい公

共宣言という意味では生きているし、誰にでも居場所と出番がある社会は変わらない理念だと思う。 "新しい公共"は23・24年度では良かったが、25年度に入った時にこのままの表記で良いのか。 表記を変えてもよいのではないか。

事務局:事業名については、市と調整する。

4 5 6

7

8

9 10

 $\frac{1}{2}$

3

4. そ の 他

1. 平成25年度西東京市市民協働推進センタースタッフについて

事務局:今年に入ってから、スタッフと面接を行ってきた。日常の業務に関することもあるが、主に、翌年度の契約更新についてである。その結果、3名のスタッフから更新をしないという意思表示があったので、これに基づいて3月1日の社協だよりに募集記事を掲載する予定である。社協のホームページ、ハローワークでも情報を載せる予定である。

12 13 14

11

2. 次回運営委員会日程について

15 日時:3月19日(火)19時~21時 16 会場:イングビル3階 第2会議室